

夏季休業を迎えるにあたって

校長 **池原智宏**

1学期始業式・入学式から夏季休業までは、新型コロナウイルス感染症との闘いの中で、修学旅行・宿泊研修・学校祭という大きい行事が無事に終わり、円滑に教育活動を推進することができました。生徒は、全体的に落ち着いており、指導上の問題もなく、とても良い状態にあると思います。このことは、生徒の頑張り先生方の熱心な指導、そして保護者・地域の皆さまの御協力と御支援がうまく噛み合った結果が表れたものと思っています。

これまでの主な行事と教育活動を振り返ってみますと、4月には、3年ぶりとなった3年生の修学旅行、5月にはこちら3年ぶりとなった1年生の宿泊研修を無事に終えることができました。3学年も1学年もこれらの行事に参加して一回り成長したのではないかと、終えてからの学校生活を見て感じています。9月には、2年生の札幌でのデザインスクールが3年ぶりに計画されています。是非、行ってきたいと思っています。

本校生作品展「木の手づくり展」は、旭川市のデザインギャラリーで、6月11日(土)～6月12日(日)に行われ、沢山の来場者が来られました。また、札幌市では、かでの2・7にて7月1日(金)～7月3日(日)に行ない、北海道知事をはじめ沢山の来場者が来られました。両会場とも、お忙しい中、展示会のお手伝いいただいた保護者の皆さまには、大変感謝しております。ありがとうございました。非常に残念であったのが、今年も生徒の参加を見合わせたことです。新型コロナウイルス感染症が多少落ち着いてきましたが、まだ早いという判断です。来年度については、生徒の参加での「木の手づくり展」で大いに盛り上げてもらいたいと思います。卒業生や在校生の作品を見ていただける機会としては、大変有意義な作品展になったと思います。

次に夏季休業前を飾る「おと高祭」では、3年ぶりに保護者の皆様への舞台発表や作品展を公開できました。2日日程の初日だけの公開でしたが、本校の特色を生かした内容ある充実した学校祭を一部でも観ていただけたことは、大変良かったと思っています。今年の学校祭は、生徒会役員が一生懸命企画した内容を生徒

全体が積極的に取り組み、すばらしいものとなりました。来年度は是非、全日程を保護者の皆さまや、村の方々に直接見て頂きたいと思っています。

さて、夏季休業を迎えるに当たり、保護者の皆さま、生徒諸君にお願いがあります。まだ、収束が見通せない新型コロナウイルス感染症ですが、あらためて「新しい生活様式」を維持していただきたいと思っています。感染予防と健康管理についての御協力をお願い致します。

最後に、夏季休業は、心身をリフレッシュするよい機会です。自ら課題をもち積極的に取り組み充実した規則正しい生活を過ごして欲しいと思います。なお、1年生はコース選択、2年生は将来の夢を見つけるために、3年生にとっては、進路決定に取り組まなければならない重要な期間であります。どうか、家族での話し合いを十分にされますとともに、準備学習等に全力をあげて頑張ってくださいと思います。

「おと高生になりました」

1学年担任 久保 亜紀子

入学してから約3か月が過ぎました。初めはわからないことだらけで、ぎこちなかった1学年もクラスメイトや先輩方との関わりの中で少しずつ緊張が解け、学校祭の準備が始まった頃にはすっかり「おと高」の一員として過ごす姿がみられるようになりました。

GW休業明けの宿泊研修から学校祭までイベントが目白押しだった「おと高」での生活。1年生にはいろいろなものが見えたと思います。この3か月の生活の中で得たものを、今後の学校生活に生かしてほしいと思っています。

これから高校生になって初めての夏休みを迎えます。まずは直前まで駆け抜けた3か月分の疲れを癒してほしいと願っています。そして疲れが取れたら夏にしかできない経験や村では出来ない事を体験してほしいと思います。

道北、音威子府の夏は暑いけれど短い。皆さんの夏の思い出話、お待ちしております。

「飛躍の2年生」

2学年担任 河野 行宏

GW明けから、前期中間考査、インターン、学校祭とめまぐるしく行事が続きました。同時に、部活の大会、進学講習、レッスンの勉強、

コンテスト出品なども行い、毎日やることに追われていたことだと思います。昨年度とは異なり、生徒会、寮生会などでも中心的な役割を担い、行事の運営等でも大忙しの日々だったと思います。

そんな中、生徒ひとりひとりが全力でやるべきことに取り組んでくれていたと思います。美術工芸、普通教科の勉強、行事等に真剣に取り組んでくれました。特に学校祭では監督・副監督を中心に計画的な作業を進め、完成度の高い演劇を完成してくれました。学級の全員からよいものを作ろうという強い意志を感じ、力を合わせてそれを実現してくれました。何ごとにも真剣で、成果を出す姿に、大きな可能性を感じました。

2年生の夏から、進路活動に向けた本格的な準備が始まります。一休みしながらも、レッスン、勉強、コンクール、インターン活動など、それぞれの進路実現に向け、行動していきましょう。

「最高学年として」

3学年担任 杉浦 誠 耶

最高学年として取り組んだ学校祭では様々な取り組みをしてくれました。学級の活動のみならず、係活動や有志発表、生徒会企画など、運営面でも全体を引っ張ってくれました。卒業制作や進路活動も同時に進行していく中、身体的にも精神的にも大きな負担がかかっていたと思いますが、見事やり遂げてくれました。今年の学校祭準備期間では、まさに3年間の集大成と思えるような素晴らしい動き方をしていました。役割、リーダーの指示、制作物を早くにも決め、進捗状況を全体で共有する、まるで社会人のように迅速な行動でした。さらにクオリティを追求する姿には先輩としての意地、そして美術工芸科のプライドが込められていました。まさに、学校生活の集大成になるような情熱的な取り組みをしてもらい、非常に感動しました！

慌ただしかった行事も終わり、残るは自身の進路決定がメインとなります。この夏が進路の山場になります！みんなが笑って卒業できるようにしっかり頑張りましょう！

●おと高 Story

《なおみちカフェ開催》

6月7日(火)、鈴木直道北海道知事が本校されました。

校長から本校の教育活動について説明させていただいた後、生徒会役員と懇談の



時間を持ちました。鈴木知事は、本校の特色ある教育活動について感心した様子で、親元を離れて寮で暮らす生徒達に向けて「3年間を仲間と過ごすことは大切な宝物になる。存分に頑張ってください。」と激励の言葉をいただきました。

《インターンシップ》

6月23日(木)、本校2学年36名が、村内でインターンシップを行いました。それぞれが就業体験を通して、働くことの意義について考える良い機会となりました。

御協力をいただきました村内企業の皆様、ありがとうございました。



《木の手づくり展》

本校生徒の木工作品等を展示する「木の手づくり展」旭川展が6月11日(土)～12日(日)まで旭川デザインギャラリーにて、札幌展が7月1日(金)～3日(日)までかでの2・7で行われました。

授業で作った作品や、課題研究の授業の中で取り組んだ卒業制作など約200点を展示しました。また、日常の学校生活の様子等を収めた写真を展示したり、中学生向けの進路相談コーナーを設置したりして、本校の教育活動について紹介させていただきました。両会場とも多くの来場者が訪れ、興味深く作品に見入っていました。会場の設営に御協力をいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



《学校祭》

7月16日(土)、17日(日)に『おと高！最高！さあ行こう！』をスローガンとして学校祭が開催されました。

今年度は、コロナ禍の中ではありますが、基本的な感染予防対策を徹底し、保護者の皆様限定の一般公開も行いました。

生徒会役員が中心となり、一人ひとりが積み重ねた学びの成果を存分に発揮した「おと高祭」でした。

